

STAGE+を楽しむ(213)(HP 収載)

—ヴェルディのレクイエム—

1. 始めに

前報(212)に引き続き、STAGE+のヴェルディのレクイエムの演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のヴェルディのレクイエムの演奏を選びました。

ダニエル・ハーディングが指揮するヴェルディのレクイエム

サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団

収録日: 2024年10月23日

マーラーに高い経験値を持ち2024年8月の来日も記憶に新しいダニエル・ハーディングが、いよいよ10月からアントニオ・パッパーノの後任として、イタリアが誇る名門サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団の音楽監督に就任します。シーズンの幕開けを長い伝統に従って、演奏会形式の《トスカ》(※プッチーニ没後100周年)で任期を始めるマエストロはまた、ローマの歴史的遺産に敬意を表してサン・パオロ・フオーリ・レ・ムーラ大聖堂の壮観な会場からヴェルディのレクイエムを披露。イタリアらしい表現力豊かなオーケストラに世界トップクラスのソリストたちを集結させ、精密さと力強さでヴェルディのドラマを紡ぎ出す、この特別な演奏会をライブ配信でお届けしますのでお観逃しなく。

ソリスト:

チャールズ・カストロノヴォ (テノール)、マサバネ・セシリア・ラングワナシャ (ソプラノ)、ロベルト・タリアヴィーニ (バス)、ユリア・マトーチュキナ (メゾソプラノ)

演奏:

サンタ・チェチーリア国立アカデミー合唱団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団

指揮:

ダニエル・ハーディング

曲目:

ジュゼッペ・ヴェルディ レクイエム



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続しています。

サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団の音楽監督に就任したハーディングの指揮での、由緒ある大聖堂における演奏です。

ピアノッシモから突如爆発するようなフォルテッシモまで破綻がありません。

4人のソリストの歌唱もよくとおります。

合唱の迫力やソリストの歌唱は、どこことなくバッハの宗教曲やモーツァルトのレクイエムと違ってオペラのような趣も感じさせます。

荘厳な大聖堂の中で端正で銜いのないハーディングの指揮は、ベルリンフィルなどでおなじみですが、この大舞台での大曲をリードしています。





4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G も使用した結果、大曲を破綻なく聴かせてくれます。

以上